

里山の生活体験教室【西条市】

～地域住民との交流を通して里山の暮らしを知ろう～

◆活動の目的・理念

- 地域の環境を生かした体験活動
- 地域住民との交流
- 地域住民の活力、地域の活性化

活動場所	大保木公民館	対象学校区名	西条市内全域および新居浜市内一部の県立高等学校	子どもの平均参加人数	10 人/日
開催日数	土曜日	5 日	10 : 00 ～ 12 : 00	活動のべ日数	8 日
曜日・時間	日・休業日等	3 日	10 : 00 ～ 12 : 00	協働活動支援員のべ人数	12 人
協働活動サポーターのべ人数	10 人	民生児童委員、地域住民、サークル会員、地域出身者	ボランティアのべ人数	129 人	地域住民、地域出身者、保護者
参加者募集	各高等学校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集		連携・協力 機関・団体	大保木公民館、大保木地区連合自治会、西条自然学校、石鎚ふれあいの里	

取組の概要

＜主な取組内容＞体験プログラムの実施

- 竹伐り体験
放置された人工林を伐採し、自然に戻す活動を行い、竹筒でご飯を炊きました。
- かずらで鍋敷作り体験
大保木の山で採れたかずらを使って鍋敷きを編みました。
- 畑仕事体験
畑を耕し、大根の種を蒔き、草引きをし、大根を収穫しました。
- 防災士による防災食体験
防災士の方に災害時に必要な備えと防災食を教えもらい地域住民と一緒に防災食を作りました。
- ふれあい運動会の運営体験
地域住民と一緒に競技の進行や、競技に参加して運動会を盛り上げました。
- 文化祭・バザーの運営体験
畑仕事体験で植えた大根を収穫し販売体験をしました。魚を竹串に刺して炭火で焼いて販売しました。
- 七草会
地域住民が採った七草を入れたお粥を食べ、七草の効能を学びました。
- こんにゃくづくり体験

畑仕事体験



児童・生徒の感想

- ・ 普段土に触る事が無いので、畑を耕す事は新鮮な体験だった。
- ・ 自然にある物を使って、工夫した生活の様子を知れて良かった。

ふれあい運動会

＜特色ある取組＞

- 竹伐り体験（放置竹林対策）
地域住民と一緒に森を守る体験の一環で、竹伐り体験を行いました。竹を伐採し自然へ戻す作業を行い、伐採した竹を使って竹筒でご飯を炊きました。自然と共に生きていく上での大切な作業を地域住民と一緒に出来たことは、環境を考える上でも良い体験でした。
竹筒で炊いたご飯は竹の香りがして美味しかったと好評でした。



竹伐りの様子

事業を実施して

【成果】

- 住民が講師となることで、本物の里山の暮らしを学べる。
- 大保木地区の課題を高校生と一緒に考える機会となった。
- 地域住民が講師となることで、個人の活力になり生活の中に張りが出てきた。
- 若い世代に里山の暮らしの知恵を教える事が出来た。

【課題】

- 学校との日程調整の連携
- 住民がこの事業へ参加する意欲の向上と継続
- 持続可能な活動内容の企画